

Analytical Sciences からのメッセージ

今坂 藤太郎



最近、「ジャックスよりアングェバンテがいい」と言う人がいる。読者は、「あれか」と、お気付きのことと思う。以前は *J. Am. Chem. Soc.* のインパクトファクターが大きく、皆が競って投稿した。しかし、最近 *Angew. Chem. Int. Ed.* のほうが大きい、との意である。研究者の中には、インパクトファクターに^{とら}捉われるべきでないと言う人が少なくない。私も同感である。では、どのような雑誌がよい論文誌であろうか？

私が若い頃、^{ころ}「プロレスで、どのチャンピオンベルトが一番価値があるか？」と言う議論があった。有名なレスラーが、「強い挑戦者が目指すチャンピオンベルトこそ最も価値がある」と言っていた。これを学術誌に置き換えると、「自分が日頃読む、優れた論文が多数掲載され、投稿したいと思う雑誌、が最も価値がある」と言うことになるだろう。

Analytical Sciences は、インパクトファクターが 1.735 になり、わが国における主要な化学雑誌の中では、*Chem. Lett.* を抜いて最大である。また、全世界から無料で読むことができる。たとえば、Google で “Analytical Sciences” と入力し、最初に出てくる項目をクリックすれば、最新号にもアクセスできる。大学図書館も必要ない。

インパクトファクターにより雑誌の価値が決まるわけではない。また、Analytical Sciences より値が大きく優れた論文誌があることは、皆様もよくご存知だろう。では、どうすれば Analytical Sciences の価値を高めることができるだろうか？

Analytical Sciences の掲載率は、最近 30% 程度である。年間約 1000 報の論文が送付され、約 700 報の論文を不掲載にしている。しかし、雑誌の質を高めるには、もっとよい論文を集める必要があるだろう。では、どうすればよい論文が集まるだろうか？

Analytical Sciences は、論文審査を速やかにするため、今年から WEB 投稿システムを運用開始することになった。投稿から出版までの時間の短縮には有効だろう。しかし、それだけでよい論文が集まるだろうか？

優れた論文が集まるかどうかは、審査の質によるところが大きい、と私は考えている。論文を投稿して稚拙なコメントを受け取り、「二度と、こんな雑誌には投稿したくない」と思われた方も少なくないと思う。私も然りである。たとえ投稿した論文が掲載不可となっても、著者が見逃していた文献を指摘し、結果や考察に対する鋭い批評があれば、次回はより優れた論文を投稿したいと思うに違いない。質の高い論文審査は雑誌の権威を高めるために欠くことができないものである。そして、その質の向上がひとえに会員諸氏のご支援^よに^{あて}拠ることは、論をまたない。

以前、Analytical Sciences の編集委員から論文審査のお願いが私宛に来た。タイミングも悪く、続けて 3 回お断りしてしまった。そのためか、後日学会からメールを頂き、現職すなわち編集委員長を引き受けるようになった次第である（もちろん歴代の編集委員長は立派な業績で選出されたと思うが）。もし、皆様のお手元に編集委員から審査依頼が参りましたら、本誌の権威と質の向上^{てつ}のため、ぜひご支援を賜りますよう、ここに改めてお願いする次第です（私と同じ轍^{てつ}を踏まないためにも?）。

〔Totaro IMASAKA, 九州大学大学院工学研究院, 「Analytical Sciences」編集委員長〕